

## 開催報告

# 令和3年度「しがこども体験活動実践交流会」

子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関・団体の企画運営担当者等を対象に、事例発表や意見交換等を通して、青少年の体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進する機会とすることを目的として実践交流会を実施しました。



【日時】 令和4年2月3日（木）13:30～16:00

【会場】 滋賀県庁 新館7階 大会議室

【対象】 「しがこども体験学校」登録団体、行政関係者（市町教育委員会、公民館・コミュニティセンターで子どもの体験活動を企画運営する職員）、社会福祉協議会、地域での子どもの体験活動関係者、協力者団体 等

【参加者】 51名（来場21名、オンライン30名） ※オンライン併用

### 【内容】

13:00 受付

13:30 開会行事（開会挨拶、日程説明）

13:35 事例発表

①「しがこども体験学校」登録団体の取組

森林公園くつきの森での活動

NPO法人麻生里山センター 石脇 和 氏

②「地域での子どもの体験活動」の取組

竜王町公民館における子どもの体験活動の充実

竜王町公民館 副館長 関川 雅之 氏

14:25 アピールタイム

15:00 情報交換・全体会

15:45 アンケート記入

15:55 閉会



### 【事例発表】

#### ●「しがこども体験学校」登録団体の取組

森林公園くつきの森を拠点として四季折々の植物や生き物に触れる活動について御紹介いただきました。ここだからできること、リアルな自然に触れること、自分たち（大人）も楽しむこと、わくわくを伝えること、などを心がけて活動されています。また、誰もが行きたくなくなるような魅力的なイベントのチラシを作成されたり、地元の広報紙やホームページ、Instagram等で活動の様子や季節の変化を広く発信することで、活動が持続できるように取り組んでいることを教えていただきました。

#### ●「地域での子どもの体験活動」の取組

公民館の機能・目標を「つどう・まなぶ・むすぶ（つなぐ）」と掲げて、防災キャンプを初めとして様々な地域子ども教室推進事業に取り組んでおられます。コロナ禍により、宿泊を伴わない防災デイキャンプだったものの、防災センターでの体験、非常食体験、避難所設営ゲーム、自衛隊による防災講習、防災野外炊さん等、盛りだくさんの内容で実施されました。公民館が地域の中心となって子どもの体験活動の充実に向けて尽力されていることを教えていただきました。

## ●アピールタイム

各機関・団体の交流を深めていただくために、活動の紹介等をまとめたアピールシートの作成を任意でお願いしたところ、29団体より提出があり、冊子にしたものをお配りしました。4団体がアピールタイムの参加を希望され、日頃の御取組について熱くPRしていただきました。

## ●情報交換・全体会

当初はグループに分かれての交流を予定していましたが、コロナ禍により全体会に変更して情報交換をおこないました。学校・地域・団体・企業との連携、事業の充実、人材の確保・養成等について、日頃考えておられること、工夫されていること、困っておられること、他の参加者へ質問したいこと等をお話しいただき、皆様の抱えておられる課題の共有、コロナ禍でも活動を止めないことの大切さを確認する機会になりました。



## ●参加者のアンケートより抜粋

**事例発表①について** 自然体験を子ども達がすることによって感受性が豊かになることが大変勉強になりました。朽木の自然をめいっぱい活かせる活動をされていて、行きたくなるパンフレットの工夫が素敵だと思いました。コロナ禍の中でも工夫して子どもたちが体験できる場を作っておられ、大人も一緒に楽しむということも大切にされているのがよかった。

**事例発表②について** 学区をこえて異学年の子どもたちが地域の方に支えられて様々なことにチャレンジできる仕組みが本当に素晴らしく、理想が実現している地域もあるのだとわかって勇気をいただきました。地域を最大限に活用して地域を巻き込んでの活動が参考になりました。年間スケジュールを立てる為にいろんな方面に協力依頼をされている事、学校・地域・子ども達の関係が素晴らしい。決して、してあげている等の上から目線でない事が良いと思います。

**アピールタイムについて** 直接声をきく、表情をみる、紙面では伝わらない思い・エネルギーが伝わりますね。そのエネルギーで、また活動を頑張ろうと思えるので、リアル開催は大切だと思います。地域と学校の結びつき、企業と学校との結びつき等を的確にアピールしていただき非常にわかりやすかったです。それぞれの取組発表の方々は声が大きく自信をもって発表されていた。強い思いを感じることができました。

**情報交換・全体会について** 人集めや人材確保についてどこも苦慮されていることがわかった。地道に活動を続けることで少しずつでも輪を広げることや、今回の交流会などの機会につながりを作っていくことなどをしていこうと感じられた。コロナ禍で工夫された情報交換・全体会でしたが、グループで話し合いができたらいいなと思いました。

**全般について** 今後どのような体験活動を行うのか、どのようなことに気を付けるべきか、発想が豊かになる良い機会となりました。日々の活動ではいろいろな団体様とゆっくり交流させていただく機会がないため、このような会で交流させていただくのは大変貴重な機会になります。中止されるのかな…と聞いていましたが、開催いただきありがとうございました。この2年間の“子どもたちが学ぶ機会やチャレンジする機会の欠如”に保護者として危機感を覚えています。子どもを中心とした地域でのつながり作りの機会の喪失でもあり、落ち着いたら思いっきり活動していかないと…と考えております。